

ケーススタディ

Sync.com

Sync.comは、安全なクラウド・ストレージと企業のコンテンツ・コラボレーションに対する需要の拡大に対応するため、急速に事業を拡大しています。

「我々はクラウド・ストレージ業界の最大手数社と競合しています」と、Sync.comの共同創設者、トーマス・サバンドラ氏 (Thomas Savundra) は言います。しかし、クラウドベースのプライバシーとデータ保護に独自の方法で取り組むことで、同社は大きな成功を収めてきました。事実、同社が必要とするストレージ容量は、毎月3ペタバイト (PB) のペースで増え続けています。その結果、サバンドラ氏は需要の増加に応じて事業をすばやく拡大するSync.comの能力が危機に瀕していることを察しました。

サバンドラ氏は、業界屈指の高密度を誇るSeagate® Exos® Eストレージ・システムについて、そのオープンで拡張可能な設計から「Sync.comのインフラストラクチャ・チームの救世主」と評しています。サバンドラ氏は、「当社の仕事はただひとつ。それはお客様のデータを失うことなく、守ることだ」と言います。SeagateはそんなSync.comの約束を叶えます。

- **高い拡張性**：100万人以上のユーザーに対応できる規模にストレージを拡張
- **容量アップ**：一月当たり3ペタバイトの要件に対応
- **新製品**：ユーザー1人当たり最大10テラバイトのストレージ
- **充実したSLA**：顧客にとって99.99%のアップタイム



Sync.comのストーリー

Sync.comは、安全かつ拡張可能なクラウド・ストレージを提供することで企業の成功を後押ししています。

エンタープライズ規模のクラウド・ストレージ市場で成功を収めることは決して容易なことではありません。データ・インフラストラクチャ製品は、その提供元が有名な大手クラウド企業であれ、専門性の高いITソリューション・コンサルタントであれ、法人顧客の信頼を勝ち取って長期的に成長を収めるためには独自の価値を提供する必要があります。

サバンドラ氏によると、Sync.comの開発チームでは、「自社データの保管を安心して任せられる安全なクラウド・ストレージ・プラットフォーム」を作るところから開発を始めたと言います。その後、クラウドベースのデータ・ストレージに関して企業が実際に抱える課題に対処し、それを克服することのできるエンドツーエンドの製品へと進化させました。

Sync.comは、エンタープライズグレードのインフラストラクチャ、複数箇所を拠点とするデータセンター、そして高度なストレージ・システムを提供することで、いかに要求の厳しい顧客の要望にも応えられるよう取り組みを進めています。これには、法令順守が厳しく求められる法律事務所、医療法人、会計事務所などに安心感を与える自動フェイルオーバー・システムや安全性の高いHIPAA準拠の機能などが含まれます。

Sync.comの目標

著しい成長を遂げたSync.comは、高まり続ける需要に対応するため、優れたストレージ・プラットフォームを必要としていました。

サバンドラ氏にとっての目標は単純明快。それは、膨大な量のデータを常に安全に守り、いつでもアクセスできるようにすることで、あらゆる規模の法人顧客のニーズに対応することでした。この目標を達成するためには、ストレージ容量と拡張性を高めることで、セキュリティやプライバシーを犠牲にすることなく、生産性を維持する必要がありました。





法人顧客からの需要の拡大がSync.comにとって大きなビジネスチャンスであることは明らかですが、低密度のストレージ・システムは費用と信頼性の面でまだ課題を残しています。

Sync.comへのソリューション

Sync.comは、Seagate Exos Eシステムを使用して自社のストレージ・インフラストラクチャを拡張しました。

Sync.comがクラウドベースのストレージ市場で成功を収めるためには、顧客のニーズを無視することはできません。データ要件が高まるにつれ、低密度のシステムでは太刀打ちできなくなってきます。100万人のユーザーと毎月ペタバイト単位で生じるストレージニーズに対応するため、サバンドラ氏と担当チームは、「Sync.comが効率よく拡張して管理できるプラットフォームと最大容量のシステム」の必要性を認識していました。

ストレージの拡張と信頼性を求める声の急拡大に備えて、Sync.comはSeagateの専門家と連携しながら、ソリューションを構築するための準備を進めました。サバンドラ氏は「大企業や大規模な組織との取引が始まると、エンタープライズグレードの

Sync.comが抱える問題

ストレージ要件の急速な拡大は、Sync.comが持つ既存のインフラストラクチャにとって大きな負担であり、お客様のデータ需要に応じて事業を拡大する同社の能力は危機に瀕していました。

拡張性に乏しい低容量のシステムほど管理に費用がかかり、障害の影響を受けやすいため、Sync.comが提供できる製品内容とストレージ容量には限りがありました。



信頼性が主なテーマとなりました」と話します。Seagateの高密度ストレージ・アーキテクチャは、Sync.comが約束するプライバシーと保護の実現に欠かせない信頼性、そしてお客様からの信頼を高めるうえで必要な優れた評価をもたらしました。



Sync.comは、新製品の導入、 拡張性の改善、お客様からの 信頼の向上という3つの成功を 収めました。

クラウド・ストレージにおける成功は、ただ
スペースを確保することだけではありません。
新しいストレージ製品に対する顧客のニーズを
満たし、複数のデータセンターに確実にデータを
保存することでデータにアクセスしやすい環境を

整え、顧客からの信頼を高めることが重要です。
Sync.comの場合、以下の点で成功を収めました。

- 100万人以上のユーザーに対応できる規模にシステムを
拡張
- 一月当たり3ペタバイトの需要に対応できる水準に容量を
増大
- 99.99%のアップタイムで顧客にとって安全なスペースを
実現
- ユーザーに10テラバイトのストレージを提供
- 業界屈指のソリューションで信頼性の向上を実現

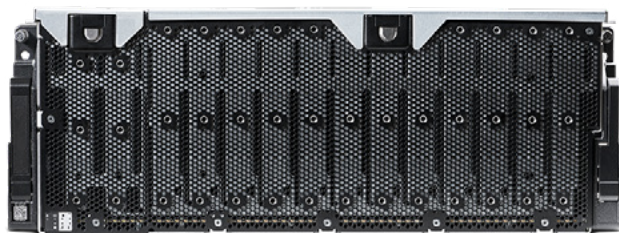


**Seagateなくしては当社はいかなる
方法でも拡張を実現できず、安心感
も得られません。安心感を提供する
ビジネスであるSync.comにとって
Seagateのソリューションはなくては
ならない大切な構成要素なのです。**

社長兼共同創設者、トーマス・サバンドラ



使用した製品



Exos E 4U106 JBODシステム

業界最高密度のストレージ・システム

詳細

https://www.seagate.com/files/www-content/datasheets/pdfs/exos-e-4u106-DS1980-10-2008US-en_US.pdf



本ソリューションの
詳細な情報

公式ウェブサイトをご覧ください：

www.seagate.com

seagate.com

© 2020 Seagate Technology LLC. 無断での引用、転載を禁じます。Seagate、Seagate TechnologyおよびSpiralロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるSeagate Technology LLCの登録商標です。Exosは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるSeagate Technology LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。その他の商標または登録商標は各社の所有物です。製品内容または仕様は、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。CS612.1-2010.JP、2020年10月



SEAGATE